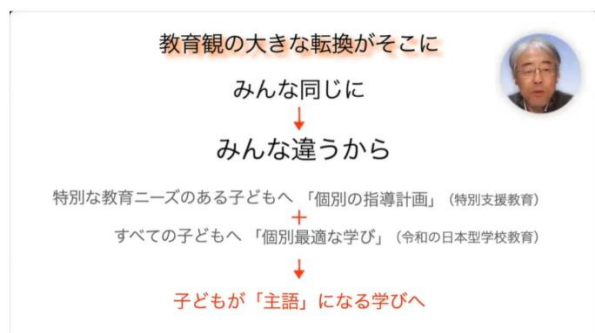


特別支援教育コーディネーターに求められる役割と専門性の向上 (3.発展編)



内容

特別支援教育の理念に立脚して、特別支援教育コーディネーターの役割について基本的な理解が得られるようにするとともに、特別支援教育の展開を進めていくキーパーソンとして、関係者へどのようなアプローチを図っていけば良いのか解説している。実際には、コーディネーター初任者を対象として、その役割の理解を中心とした「基礎編」と、経験3年目以降の者を想定して、特別支援教育から学校教育のリ・デザインを目指す「発展編」を設定した。これらに加えて、その中間的な位置づけとして、学校経営をふまえて校内体制を協働的に推進するための「展開編」を設定している。

コンテンツでは、コーディネーターや小学校校長を経験した大学教授や特別支援教育へ造詣の深い現職の小学校教頭へのインタビューを盛り込んで、学校実践との関連を深めるコンテンツとしている。

3 発展編(約85分)

豊富な経験を持つベテランコーディネーターを想定して、さらなる校内体制の充実を目指して、これからの学校教育の姿をふまえた新たな方向性について説明した。3部構成として、1「発想」から生まれる特別支援教育、2インクルーシブ・デザイン、3学校教育のリ・デザインへ、を設定した。1の発想では、デザイン思考の方法論を紹介するとともに、これからの学校教育とインクルーシブ教育の関連性を見通せる内容としている。

講師 (所属等は令和6年3月時点)

兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 宇野宏幸